

## 平成28年度 第2回放送番組審議会（敬称略）

- ・会長 奈良 秀則
- ・副会長 高樋 忍
- ・委員 櫻庭 洋一
- ・委員 田中 聡子
- ・委員 三浦 博史
- ・委員 佐藤 善一
- ・委員 石川 佳共子

## 平成28年度 第2回放送番組審議会 議事概要

- ・開催日時 平成29年2月21日（火） 11:00～
- ・開催場所 ホテル青森
- ・出席者
  - ・[委員出席者]
    - ・奈良秀則 委員
    - ・高樋 忍 委員
    - ・三浦博史 委員
    - ・石川佳共子 委員
  - ・[放送事業者側出席者]
    - ・佐藤健一 代表取締役社長
    - ・石井啓之 代表取締役常務
    - ・三浦 直 放送部部長

## 議事

1. 開会
2. 挨拶 佐藤健一 代表取締役社長
  - ・半年に一度、番組を審議いただくもの、よろしく願いたい。
  - ・この間、様々なチャレンジをしてきた内容について、ご意見を伺いたい。
3. 放送業務概況説明 2016年度下半期「ACT市民チャンネル」の主要番組概要を説明。
  - ・10、11月中心に、市民文化祭や小中学校の発表などを今年も収録し放送した。
  - ・11月に青森市長選挙が行われ、それに伴う特別番組を放送した。
4. 市民チャンネル番組視聴 5本の番組を短く編集し視聴した。
  - ・私たち！ドラマに出演しました～NHKドラマ出演体験～
  - ・Weekly Report より「なるほど！浅虫水族感」
  - ・じょっぱり経済学
  - ・青い森音楽祭2016 ミュージカル「転校生」
  - ・青森市長選挙 選挙開票特番
5. 委員からの意見、感想
  - ・私たち！ドラマに出演しました～NHKドラマ出演体験～
  - ・番組概要：
    - ・NHK 青森放送局が昨年9月にBSで放送したドラマ「進め！青函連絡船」に、エキストラ募集段階からタイアップしました。小学生を対象にした募集からドラマ収録までの様子を、市民チャンネルならではの視点で番組にした。
  - ・意見等
    - ・NHKが全国各地で実施しているようだが、エキストラを地元から募集しているとは知らなかった。
    - ・小学校高学年という多感な時期にこのような体験をすることは、将来の夢が広がるきっかけとなりとても良い。
  - ・Weekly Report より「なるほど！浅虫水族感」
  - ・番組概要：
    - ・ホームページサービス「サプライズ商店街」とのコラボレーション企画で始まった月1回のコーナー。浅虫水族館で飼育されている生き物やイベント情報をお伝

えています。タイトルは、元々浅虫水族館が「様々な生き物を感じてほしい」との思いから水族館の「館」を「感」に変更して企画運営しているイベントから引用しています。

- ・意見等
  - ・番組内であった、スマートフォンで撮影した縦の動画像が見つらなかった。
  - ・浅虫水族館とタイアップしたことは良かった。
  - ・ただ水槽を眺めるだけでなく、生物の意味ある行動を見られることはとても意味があると感じる。
  - ・命の誕生や求愛行動など、見ていて素晴らしいと感じることができた。
- ・じょっぱり経済学
- ・番組概要：
  - ・国際ロータリー第 2830 地区（青森県全域）と青森大学が連携し開催した学生と市民を対象とした全 15 回の講義。ロータリークラブ会員が講師となり、毎回専門分野の最前線の授業を行った。市民チャンネルではそのうち 7 つの講義を収録・放送しました。
- ・意見等
  - ・実際に会社を経営している方からの話はとても参考になると感じる。
  - ・大学の授業はとかく後追いになりがちだが、生きた学問を学べる機会だと思う、学生もそこに気づいて学ぶことができれば有意義な時間になるのでは。
- ・青い森音楽祭 2016 ミュージカル「転校生」
- ・番組概要：
  - ・音楽を通して子どもたちの心を育もうと取り組まれている「青い森音楽祭」、今年は青森と函館の 4 中学校の生徒がミュージカルで青函交流しました。中学生とプロ演奏家あわせて 150 名によるミュージカル公演で、函館の CATV「NCV」にも番組を配信しコンテンツでも青函交流しています。おかげさまで函館側の視聴者から DVD や BD の購入希望の電話を頂いています。
- ・意見等
  - ・函館は野外劇などが盛んなので、関心が高いのではないかと。
  - ・カメラは何台で撮影していたのか？（有人 2 台、固定 3 台）。とても多角的にとらえていてよい。
- ・青森市長選挙 選挙開票特番
- ・番組概要：
  - ・今回の選挙開票特番では、2 陣営 + 開票所（市民体育館）の 3 カ所から中継する取り組みを行いました。（機材はデモ機使用）自社での出口調査など「当確報道」できるほどの体力はありませんが、他局が「当確」を打ち出すと事務所では慌ただしく動きがでることから、常に事務所の様子の中継できるようにと取り組みました。
- ・意見等
  - ・映像をみるととても興味深い中継だったが、PR が足りない。
  - ・キャスター 1 人では大変そうに感じた。隣にコメンテーターなどがいればなおよい。
  - ・開票所は生中継が入ると不正を監視する効果もあるのではないかと。
  - ・各陣営の応援者と候補者の素顔の様子が捉えられてとても興味深い映像だった。
  - ・さまざまな人間模様をみることができ新鮮だった。

## 6. 閉会